

夢二をめぐる人々

— 家族・友人・恋人 —
大正浪漫交遊録

2016年

1月3日(日)

3月27日(日)

①竹久夢二

画家・詩人として活躍した竹久夢二(1884~1934)。抒情的な作品のみならず、美しい女性たちとの数多くの恋や、旅を重ねた漂泊の人生そのものが〈大正ロマン〉を象徴する存在です。

一世を風靡した〈夢二式美人画〉は、妻・他万喜をモデルに誕生したように、夢二の創作の源となったのは、彼が生涯で出会った人々でした。

さらに、夢二と繋がりがあった人物を辿れば、時代を代表する画家や詩人・作家、また、世間を賑わせた恋愛事件も登場します。

本展では、夢二に関わる人々ゆかりの作品や資料を展示するとともに、大正期を中心に夢二の交友関係や時代のエピソードをご紹介します。

竹久夢二美術館



恋多き生涯を彩った女性たち

実感の手掛かりが無いと描けなかったという夢二。一世を風靡した夢二式美人画が生まれた背景には、彼の恋人たちの存在がありました。特に大きな影響を与えたのは、他万喜、彦乃、お葉の3人の女性でした。彼女たちをモデルに描いた作品や、遺品などをあわせて展示いたします。

きし た ま き
岸 他万喜



夢二と唯一結婚した女性。勝気な姉さん女房。

かさい ひこの
笠井 彦乃



二十三歳の若さで病死した、夢二最愛の恋人。

さ さ き か ね よ
佐々木 カ子ヨ
(通称：お葉)



藤島武二らも描いた、二十歳年下のモデル美女。



⑤ 若松 明治40年



⑥ 夏姿 大正4年頃



⑦ 稻荷山 大正10年頃

その他にも、「宵待草」のモデルとなった長谷川カタ、スキャンダルとなった作家・山田順子らの女性たちとの恋も…

「恋の時代」大正時代の様々な恋愛模様注目！

自由の気風が高まった大正時代は、恋愛ブームともいえる、ロマンスに彩られた時代でした。数々の恋愛事件が世間を賑わしましたが、そのうちの幾つかの当事者は夢二と交遊がありました。

〈大正ロマン〉を象徴する存在として、そのただ中にいた夢二の姿が浮かび上がります。

しまむらほうげつ まつ い す ま こ
島村抱月・松井須磨子



⑧ セノオ新小唄『カチューシャの唄』 大正9年

島村抱月・相馬御風作詞、松井須磨子が劇中で歌い大ヒットし流行歌となった。作曲は中山晋平。夢二が楽譜の表紙絵を描いた。

須磨子が抱月の後を追って死んだことは夢二の日記にも記されている。夢二は島村抱月を先生と呼ぶ間柄で、知遇を得ていた。

やなぎわらびやくれん
柳原白蓮

大正天皇の従姉妹である美貌の歌人、柳原白蓮が愛の無い結婚を捨て恋を貫いた「白蓮事件」は世間の注目を浴びた。夢二は白蓮の本の装幀を手掛けており、白蓮は夢二の歌集の冒頭に歌を寄せている。夢二は息子とともに九州の白蓮を訪ねたこともあり、白蓮もまた夢二の店「港屋」を訪れていたと語っている。



夢二が装丁した白蓮の歌集『幻の華』

画家・作家たちとの交遊・仕事

夢二は時代を代表する画家や作家たちとも交遊しました。彼らとともに作った作品、交わした手紙などを展示します。また、夢二が装幀や挿絵の仕事を手掛けた作家などもご紹介いたします。

⑨ 有島生馬・著 竹久夢二・装幀
『嘘の果』 大正10年

ありしまいくま
有島生馬

有島武郎を兄、里見弴を弟に持つ、画家・作家の有島生馬は、夢二を生涯支えた友人。夢二の墓石には生馬の筆で「竹久夢二を埋む」と刻まれている。生馬は官展に反発して創設し自由な画風を歓迎した二科展の中心人物。



⑩ 恩地孝四郎宛葉書
明治44年

おんちこうしろう
恩地孝四郎

恩地孝四郎は創作版画を代表する版画家であり、日本の抽象画の先駆者。18歳の頃ファンレターを送ったことから夢二との親交が始まった。装幀家としても知られる彼は、夢二の著作本の装幀を、夢二自身以外で唯一行った。



サトウハチロー



夢二は、島崎藤村、谷崎潤一郎、小川未明、与謝野晶子、吉屋信子、北原白秋、西条八十ら、時代を代表する作家や詩人の本や楽譜の装幀、挿絵などを手掛けました。

⑪ まりつき 昭和2年
サトウハチローの詩「まりつき」に夢二が描いた挿絵



▼左から恩地孝四郎、1人おいて藤森静雄、夢二 「港屋」にて
明治末～大正初期、夢二の周りには芸術家志望の若者が集い、夢二の店「港屋」はサロンの様であった。恩地・田中恭吉・藤森静雄の『月映』もここから生まれた。東郷青児も出入りしており、後に画家として立つ最初の影響はこの頃受けたと語っている。

母、姉、息子… 家族への思い

母や姉、息子といった家族たちも、夢二の創作の源となりました。

⑬ 『ねむの木』 大正5年

次男：竹久不二彦



夢二は3人の息子を持つ父親でもあった。特に次男・不二彦は行動を共にすることが多く、チョコという愛称で呼ばれていた。美人画で有名になったが本当は童画の方が好きだ、と語っていたという夢二。子供のための絵や詩も数多く残している。

⑫ 姉と弟 大正2年



夢二の女性像の原点には、母・姉への憧憬があった。夢二は姉・松香を慕っており、死を前にした病中の日記にも「松香は私の姉で最も私を愛しています。」と書き残している。

出品作品数 約200点

たけひさゆめじ

竹久夢二

明治17年-昭和9年
1884-1934



9月16日、岡山県生。

早稲田実業学校在学中より雑誌へ投稿し、明治38年末にデビュー。以後コマ絵や挿絵を数多く発表、またセンチメンタルな画風の〈夢二式美人画〉を確立した。

画壇に属さず、日本の郷愁と西欧のモダニズムを自在に表現した作風で、日本画・水彩画・油彩画・木版画制作などを行った。

夢二は恋多く、旅を重ね、漂泊の人生を歩んだ。

9月1日、富士見高原療養所にて49歳で没。

独自の芸術世界を形成した、大正ロマンを象徴する存在として、高く評価されている。

竹久夢二美術館

竹久夢二美術館は、都内で夢二作品を鑑賞できる唯一の美術館です。

平成2年(1990)に開館し、年4回三ヵ月ごとに企画展を行っています。

館が建つ東京・本郷は、夢二が滞在した〈菊富士ホテル〉がかつてあり、また最愛の女性、笠井彦乃と逢瀬を重ねた場所で、今なお昔の風情を留めて静けさと木々の緑に包まれています。



ミュージアムショップと
カフェ港やは、入館しない方
もご利用いただけます。

人気メニューのカプチーノ〈夢のあと〉
どの夢二のカット絵が描かれているかは
出てくるまでのお楽しみ♪

開催概要

◆ 展覧会名称

夢二をめぐる人々

— 家族・友人・恋人… 大正浪漫交遊録 —

◆ 主催・会場 竹久夢二美術館

◆ 住所 〒113-0032
東京都文京区弥生2-4-2

◆ 電話 03-5689-0462

◆ 会期 2016年1月3日(日)～3月27日(日)

◆ 休館日 月曜日
※ただし1月11日(月・祝)開館、翌12日(火)休館
3月21日(月・祝)開館、翌22日(火)休館

◆ 開館時間 午前10時～午後5時(入館は4時30分まで)

◆ 入館料 一般 900円／大・高生 800円／中・小生 400円
※弥生美術館と二館併せてご覧頂けます。
※20名様以上100円割引になります。

◆ ホームページ <http://www.yayoi-yumeji-museum.jp>
※Twitter、Facebook も是非ご覧ください。

◆ 出展作品 日本画、挿絵原画、書籍、書簡など
約200点

◆ 交通 東京メトロ千代田線〈根津駅〉及び
南北線〈東大前駅〉よりいずれも徒歩7分
JR上野駅 公園口より徒歩20分

学芸員によるギャラリートーク

1/10[日]、2/14[日]、3/13[日]
午後3時～

弥生美術館で展覧会が同時
開催される上村一夫は、
本郷を舞台に夢二が登場す
る作品も描いています。



☎ 展覧会についてのお問い合わせは・・・

竹久夢二美術館 学芸員 中川 春香 までお願い致します。

Tel : 03-5689-0462 Fax : 03-3812-0699

FAX 03-3812-0699

竹久夢二美術館 中川 行

夢二をめぐる人々

家族・友人・恋人… 大正浪漫交遊録

画像使用申込書

画像送付日 月 日 必着

掲載紙（誌）／番組名	
発売／放送予定日	
所属・ご担当者名	
ご住所 〒	
TEL	FAX
メールアドレス	

ご希望の図版番号に○をしてください。

図版番号（プレスリリースをご参照ください）

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----	----	----

読者プレゼント招待券（5組10名）	希望する	希望しない
-------------------	------	-------

通信欄

画像データの提供について

同封のプレスリリースに掲載の図版について、メールで画像データをお送りいたします。
ご希望の場合は、この申込用紙に必要事項をご記入の上、FAX 03-3812-0699 までお送りください。
また美術館写真（外観／展示室）等を必要とされる場合はご一報ください。

読者プレゼント用招待券のご提供について

読者プレゼント用にご招待券（5組10名様分）をご用意いたします。この用紙にてお申し込みください。

掲載紙（誌）ご送付のお願い

本展に関する記事をご掲載いただきました際には、お手数ですが掲載紙（誌）をお送りくださいますようお願い申し上げます。 〒113-0032 東京都文京区弥生2-4-2 竹久夢二美術館 担当 中川宛